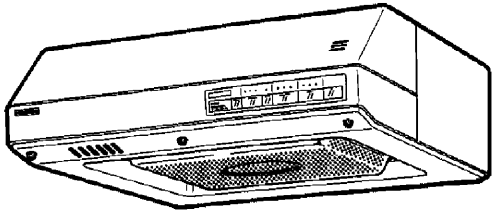
MITSUBISHI

三菱レンジフードファン（マイコン制御自動運転タイプ）

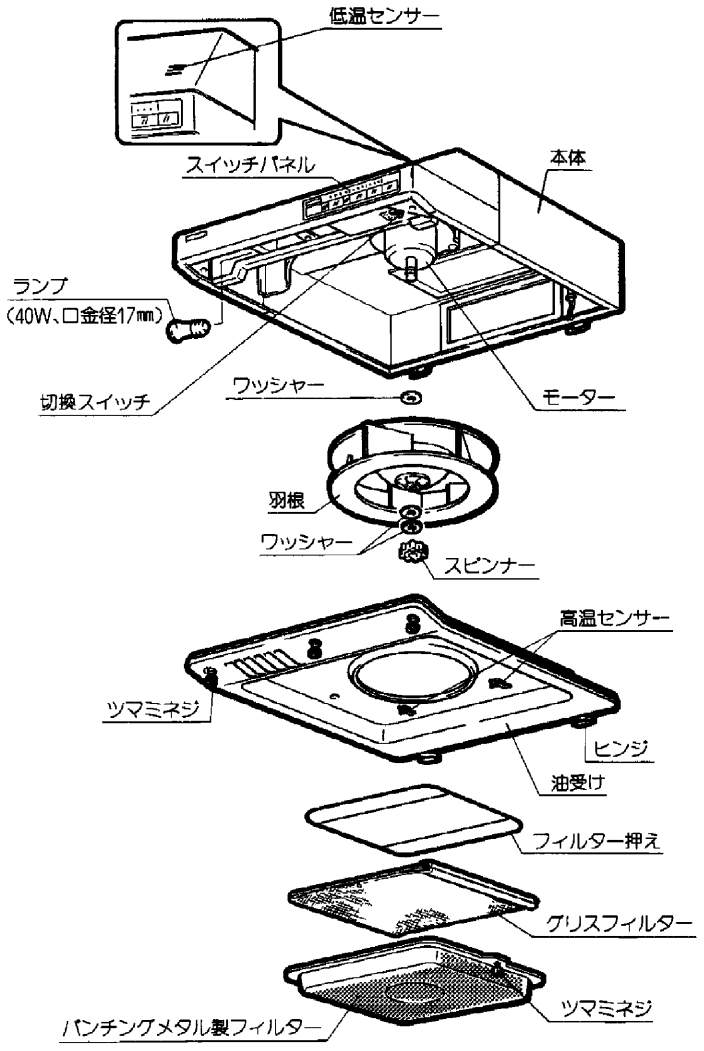
V-316RA

取扱説明書



1834-1/6

1 各部の名称



このたびは、三菱レンジフードファンをお買上げいただきまして
まことにありがとうございます。

ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
ご使用の電気品の説明書は、保存しておいてください。
万一、ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役にたちます。

2 はじめに

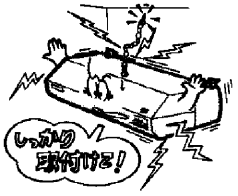
自動運転とは
●温度センサーが、レンジ使用時の温度差を検知し、自動的に運転開始、風量切換、運転停止ができます。

手動運転とは
●「強」「中」「弱」お望みの風量で連続運転できます。

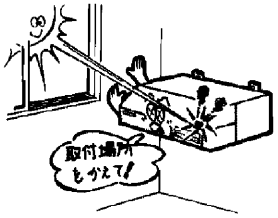
タイマー運転とは
●手動運転のとき、(5、10、30分)のタイマーセットができます。
調理後一定時間換気したいときに便利です。

3 ご確認

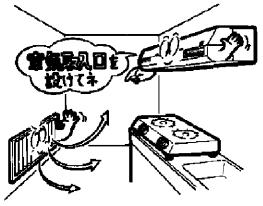
しっかり取付けてありますか
●取付けが不充分ですと騒音が発生したり共鳴することがありますので、しっかりと取付けてあるか確認してください。



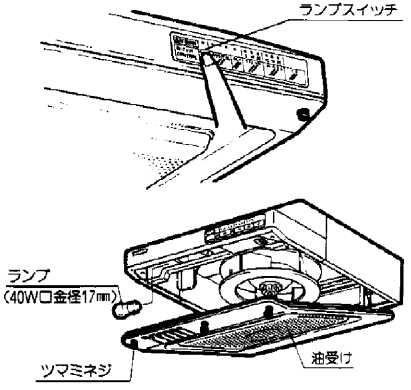
取付位置は適切ですか
●センサーが直射日光やレンジ以外の熱の影響を受けますと正常に自動運転しませんので、直接影響を受けないことを確認してください。



空気取入口は適切ですか
●密閉された建物では、汚れた空気を排出するとき新鮮な空気の入るところが必要です。レンジフードファンの反対側に空気取入口があるか確認してください。



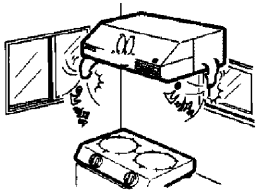
ランプは取付けられていますか
●このレンジフードファンには、ランプが工事業者により取付けられていますので、ランプスイッチを押して点灯することを確認してください。
なお、ランプが取付けられていない場合は、油受けを固定しているネジ(3本)をゆるめて付属のランプを取付けてください。



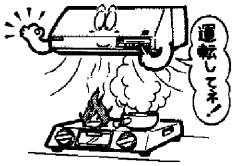
ご注意

1. レンジを空だきの状態で長時間使用しないでください。レンジフードファンの故障の原因となります。

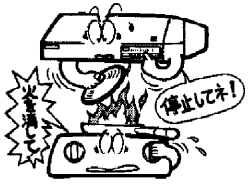
2. レンジフードファンは、風の影響を受けやすいため、レンジフードファンを使用する場合は、付近の窓をなるべく閉めて使用してください。



3. ガスレンジをご使用になるときは、必ずレンジフードファンを運転してください。
レンジフードファンを運転しませんと、本体内の温度が高くなり故障の原因となります。



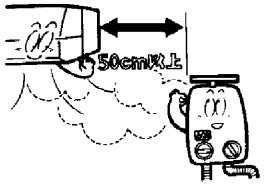
4. 料理中、誤まってフライパンなどの油に火がついたときは、ふたをするなどして火を消すと同時にレンジフードファンの運転を停止してください。
レンジフードファンを運転していますと火の勢いがよけいに強くなります。



5. 室温が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取付けないでください。
絶縁が悪くなり、感電する恐れがあります。また、スイッチ部分やモーターなどが故障する原因となります。

6. ガス湯沸器を使用する場合は、排ガスが多く出ますので、必ずレンジフードファンを連続運転してください。

●ガス湯沸器は、種類によって排気温度が100℃を越える場合がありますので真下には絶対に取付けないでください。軸受けの焼付き、廃ガスによる塗装面のサビ発生となります。



7. 配線工事は、専門の電気工事店へご依頼ください。

8. センサー周辺の温度が変わりますと、羽根が回転する場合がありますので内部に触れるときなどは、必ず切換スイッチを「切」にしてください。

5 ご使用方法

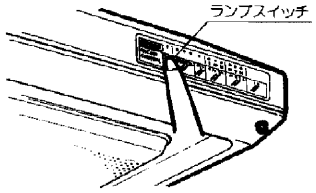
各ボタンを押すたびに「ピッ」という音がします。

ご注意

- 各ボタンは軽く押すだけで動作しますので無理に押さないでください。
  無理に押しますと故障の原因となります。
- 運転中に停電したり、電源プラグを抜いた場合は、すべて切になりますので始めから操作し直してください。

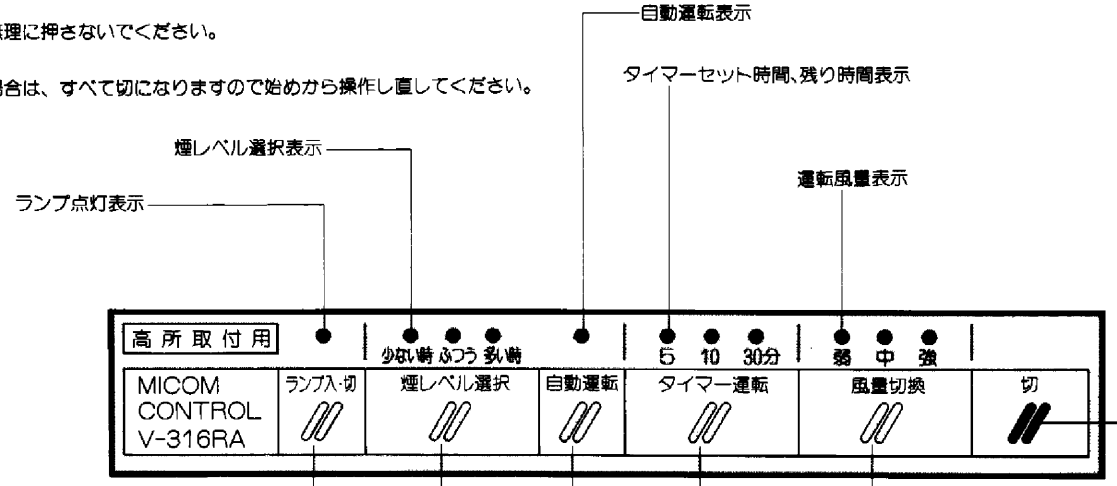
ランプ入・切

1回押すと点灯し、2回押すと消えます。



ご注意

- ランプが切れた場合は、40W、口金径17㎜のランプをお買求めのうえ取換えてください。

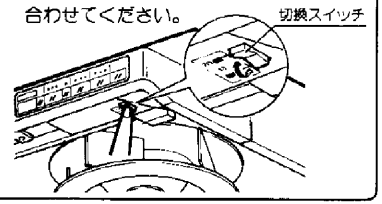


切

運転を停止するときに押してください。

ご注意

- 「切」ボタンを押してもランプ(照明用)は消えません。消す場合は、ランプ入、切スイッチを押してください。
- 「切」ボタンを押してもこのレンジフードファンはマイコンでコントロールしているため、運転していなくても、わずかな電流が流れていますので、電源を切る場合は、本体内部の切換スイッチを「切」に合わせてください。



煙レベル選択

自動運転時に料理の煙発生量に応じて選択してください。スイッチを押すごとに「ふつう」→「多い時」→「少ない時」→「ふつう」と切換わります。
一度セットされた感度は、マイコンが記憶します。「多い時」は「ふつう」に比べ、早目に強ノッチ側に風量が順次切換わります。

少ない時	ふつう	多い時
湯沸かしなど、油煙発生の少ない時にご使用ください。	通常は、ここにセットして、ご使用ください。	焼魚料理やにおいの強い調理時にご使用ください。

自動運転

1回押すと、自動運転にセットされ、2回押すと手動運転となります。
自動運転中に押しますと、運転している風量で連続運転となります。(自動運転中、羽根が停止しているときに押しますと「切」になります。)

タイマー運転

スイッチを押すごとに「5」→「10」→「30分」→「5」と切換わりセットができます。

レンジフードファンが停止のときに押しますと、タイマーのセットと運転開始が同時にできます。
(運転する風量は、停止する前にセットした風量です。)

ご注意

- 自動運転にセット中は、タイマー運転できません。

風量切換

スイッチを押すごとに「弱」→「中」→「強」→「弱」と切換わり、連続運転できます。

自動運転セット中に押しますと3分間お望みの風量で強制運転することができます。
3分間以内に自動運転にもどすときは、自動運転スイッチを2回押してください。
(突発的に発生した油煙などをすばやく換気するときに使用してください。)

ご注意

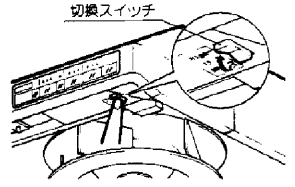
- レンジフードファンの吸込部温度が約60℃以上になりますと「ピッ、ピッ、ピッ」と断続音がします。温度が上がりすぎて危険な状態ですので火力を弱めるか、レンジフードファンの風量を上げてください。

切換スイッチ

- 通常は切換スイッチを「マイコン運転」に合わせてください。
- 切換スイッチを「強制運転」に合わせますと、「強」で運転します。

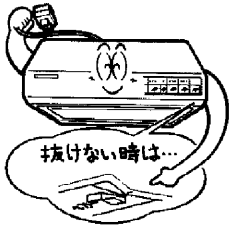
ご注意

- 切換スイッチを操作するときに羽根の回転に充分注意してください。



6 お手入れのしかた

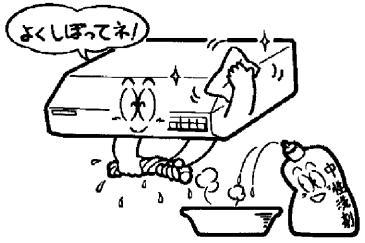
お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。なお、電源プラグが抜けない場合は、本体内部の切換スイッチを「切」にしてください。
清掃後は、必ず切換スイッチを「マイコン運転」にしてください。



お手入れのときは、必ずゴム手袋を着用し、板金部品の切り口やお湯に充分注意してください。
レンジフードファンが汚れてきましたら、次の順序でお手入れしてください。

外装と内装の清掃

●清掃は、中性洗剤を溶したぬるま湯に浸した布で汚れをとり、きれいな水に浸した布をよくしぼってふいてください。

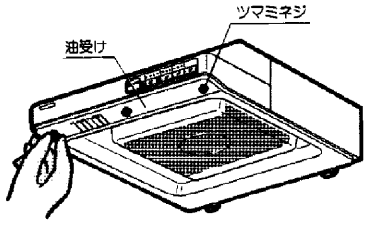


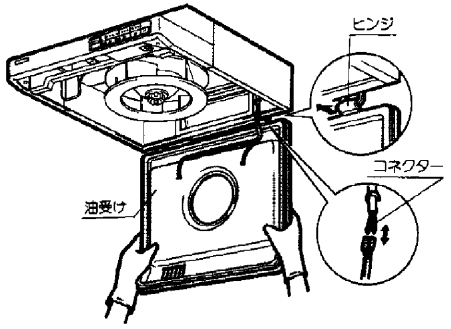
ご注意

●センサー、スイッチパネル部から本体内部に水が浸入しないように注意してください。

油受けの取外しかた

●油受けを止めているツマミネジ(3本)をゆるめて油受けを開けてください。油受けは、後部のヒンジを軸に扇状に開きます。高温センサーのコネクター(2ヵ所)を外し、そのままの状態で油受けを手前に引けば油受けは本体から外れます。

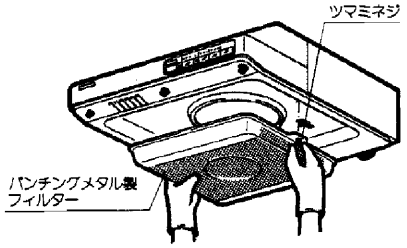




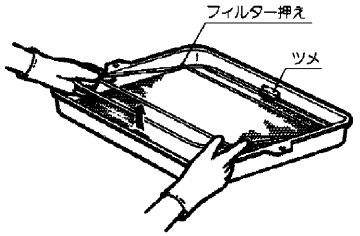
フィルターの清掃

●3ヵ月に1回程度は、フィルターの清掃を行なってください。長く使用されますと、油、ほこりなどが付着して換気風量が低下すると共に運転音が大きくなります。また、マスキングワックスを塗布してから、3ヵ月以上たちますと、油汚れが落ちにくくなりますので、早目に清掃してください。

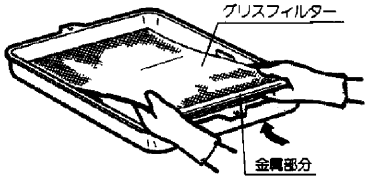
1. パンチングメタル製フィルターに締付けてあるツマミネジ(2本)をゆるめて、外してください。



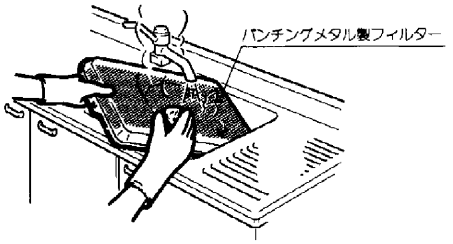
2. フィルター押えを下図のように持って下側のツメから外してください。



3. グリスフィルターの金属板部分を持ってフィルター下側のツメから外してください。



4. 外したパンチングメタル製フィルターと、グリスフィルターは、50℃~60℃のお湯でタワシなどでブラッシングして汚れを洗い流してください。

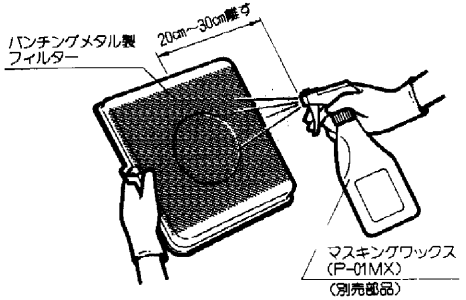


ご注意

●グリスフィルターは、変形しやすいものですから、ていねいに取扱ってください。なお、清掃後は、形を整えて乾燥させてください。

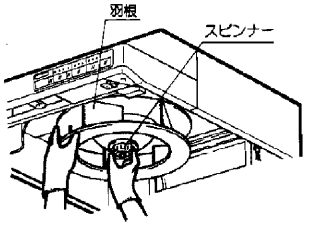
●必ずお湯を流しながら洗ってください。ため洗いしますと、落ちた汚れが再び付着することがあります。

●お手入れを効果的にするには、別売部品のマスキングワックスをご使用ください。あらかじめ、乾いたパンチングメタル製フィルターに塗布することにより、お手入れが効果的になります。



羽根の清掃

●羽根を固定しているスピンナーを「ユルム」の方向に回して羽根を支えながら外してください。

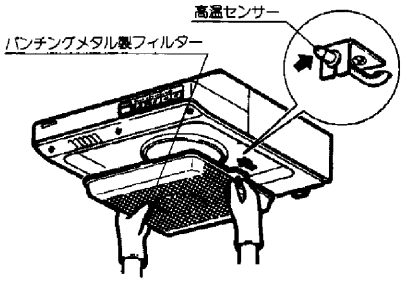


●取外した商品は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落とし、きれいな水ですすぎ洗いをしてから、乾いた布で充分湿気を取ってください。

●お手入れのときは、羽根が変形しないようにていねいに取扱ってください。変形しますと騒音や振動の原因となります。

センサーの清掃

●高温センサーの表面に油などが多く付着しますと、感度が悪くなりますので、約3ヵ月に1回、フィルターを取外して乾いた布で表面を清掃してください。



ご注意

●モーターなどの電気部品は、水にぬらさないでください。絶縁不良となり、漏電などの原因となります。

●プラスチックや塗装面の清掃には、次の溶剤などは使用しないでください。色があせたり、つやがなくなることがあります。
揮発性の溶剤(ガソリン、シンナー、アルコール、ベンジン、灯油など)、スプレー、みがき粉など。

●化学ぞうきんはこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、本体が変質したり、塗装がはげたりすることがありますのでご注意ください。

●市販のアルカリ洗剤などは、塗装をはがすものもありますので使用しないでください。
(洗剤をご使用になる前には、必ず洗剤の注意書をよくお確めください。)

●パンチングメタル製フィルターを本体に取付けるとき、ドライバーなどで強くツマミネジを締付けることは、おやめください。

7 サービスをお申付けの前に

アフターサービスをお申付けの前に次の点をお調べください。

状　態	診　断	処　置
羽根が回らない	●コンセントから電源プラグが抜けていませんか。 ●切換スイッチが切になっていませんか。	●電源プラグをコンセントに差込んでください。 ●マイコン運転にしてください。
羽根は回転するが、異常音が出るまたは振動する	●羽根やフィルターがゆるんでいませんか。 ●羽根に油やホコリが多量に付いていませんか。	●羽根やフィルターを正しくしっかりと取付けてください。 ●清掃してください。
操作ボタンを押しても切換わらない	●雷などの異常電圧が発生しませんでしたか。	●切換スイッチを一担切にして再びマイコン運転に戻してください。
自動運転しない。 (煙レベル選択を「多い時」にしますと、自動運転しやすくなります。)	●高温センサーのコネクターが外れていませんか。 ●窓からの外風は強くありませんか。 ●フィルターが目詰りしていませんか。 ●低温センサーのまわりに障害物はありませんか。	●コネクターを正しくしっかりと接続してください。 ●窓を閉めて使用してください。 ●清掃してください。 ●障害物を取除いてください。
レンジを使用しないのに自動運転する。 (煙レベル選択を「少ない時」にしますと、自動運転しにくくなります。)	●暖房機の温風がフィルター部分に吹きつけていませんか。 ●室温が急に上りませんでしたか。 ●レンジの上に高温物がありませんか。	●暖房機の温風吹出口の向きを変えてください。 ●故障ではありません。そのままご使用ください。 ●レンジの上から取り除いてください。

8 アフターサービス

三菱レンジフードファンのアフターサービスは、お買上げの販売店へお申付けください。
なお、ご不審のときは、当社のご相談窓口(取扱説明書同封一覧表の最寄りの三菱電機お客さま相談センター)にお問合せください。

9 部品保有期間

換気扇の補修用**性能部品**の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

10 仕様

形　名	電　圧 (V)	周波数 (Hz)	ノッチ	電　流 (A)	入　力 (W)	風　量 (㎥/時)	騒　音 (ホン)	重　量 (kg)
V-316RA	100	50	強	0.81	80.5	744	53	12.5
			中	0.61	60	540	46	
			弱	0.43	41	330	37	
		60	強	1.10	101	744	53	
			中	0.68	67	450	43	
			弱	0.42	41	270	34	

11 換気扇の診断のお願い

- 長い間お使いの換気扇は、使用上支障がなくても安全のための診断をお願いします。
- 次のような症状がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。(有償)

★ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

- スイッチを入れてもときどき羽根が回転しないことがある。(手動運転時)
- 回転が遅い。または回転が不規則である。(排気または吸気が弱い)(手動運転時)
- 運転中に異常な音や振動がする。
- こげ臭い"におい"がする。

お客さまへ

おぼえのために、ご購入年月日、製品形名、
ご購入店名などを記入しておいてください。

ご購入年月日	
製品形名	
ご購入店名	電話(　　)　－
最寄りの当社お客さま相談センター	電話(　　)　－

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

8704A㊞R
588H51834

1834-6/6

安全のために必ずお守りください

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告・⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

	禁　止		分解禁止		水場での使用禁止		接触禁止
	指示に従い必ず行う		電源プラグを抜く		アース線接続		

⚠警告

●交流100V以外では使用しないでください。
（火災や感電の恐れがあります）
●浴室換気扇でも内釜式風呂を据付けた浴室では使用しないでください。
（排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります）
●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。
（ショートや感電の恐れがあります）
●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しはしないでください。
（爆発や引火の恐れがあります）

●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。
（火災・感電・けがの原因となります）
修理はお買上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。

●電源プラグの刃および刃の取付け面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。
（火災の原因になります）
●電球を交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。
（感電することがあります）

●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切ってください。またぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
（感電やけがをすることがあります）

●湿気の多い場所で使用する場合は、アースが確実に取付けられているか確認してください。
（故障や漏電のときに感電することがあります）
アースの取付けは販売店、電気工事店にご相談ください。

※上記は換気扇全般を示しています。該当する事項を確認して必ず守ってください。

換気扇：お客さま用

裏面にも注意事項がありますので必ずお読みください。

9608R588HJ5003

安全のために必ずお守りください

⚠注意

●本体に異常な振動が発生した場合使用しないでください。
（本体・部品の落下によりけがをすることがあります）
●直接炎のあたる恐れのある場所や有機溶剤のある場所では使用しないでください。
（火災や故障の原因になります）
●指定以外の電球を使用しないでください。
（ランプ部分が高温となり、やけどをする恐れがあります）

●浴室換気扇以外は、浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
（感電および故障の原因となります）

●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。
（ショートや感電の恐れがあります）

●電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。
（感電の恐れがあります）
●お手入れ後の部品の取付けは確実に行ってください。
（落下によりけがをすることがあります）
●お手入れの際は手袋を着用してください。
（けがをすることがあります）

●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切ってください。
（感電やけがをすることがあります）
●電源プラグをコンセントから抜くときには、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
（感電やショートして発火することがあります）

※上記は換気扇全般を示しています。該当する事項を確認して必ず守ってください。